

No.	1 生涯学習施設の位置付けの見直しについて	分類
1	これまでの生涯学習は学ぶことだけでよかったかもしれませんが、少子高齢化、人口減少時代を迎えて、学ぶだけでなく、学んだことを社会に還元することを促していくこと、積極的にまちづくりに関わる活動を推進していくことが重要だと考えるので、生涯学習施設の位置づけの見直しには賛成です。	①案に賛同
2	人口減少を押さえ、増加に転じるようにするためにも、高齢社会における高齢者の生きがいづくりのためにも、各地域のまちづくり、社会を成立させる個人のひとりづくりのためにも、生涯学習施設の充実は欠かせません。人生100年時代とか言っているのですから、その必要期間は長くなるばかりです。誰もが使いやすいものにして欲しいと願います。生涯学習施設・活動は清水区が育て大切にしてきた大きな財産です。大きな組織の旧静岡方式に揃えるような変更には賛成しかねます。	④旧静岡側に合わせるの反対
3	両施設とも主は社会教育施設である。次に考えるのは、地区住民が気軽に集まれるコミュニティ施設であり、行政の出先のサービス施設である。	⑤社会教育・学び
4	これからの時代を担う人材を育成していく視点はとても大切であり、新たな視点として加えるべきだと考えます。	②まちづくり・人材
5	生涯学習施設をまちづくりの拠点化することに対しては賛成です。	②まちづくり・人材
6	すべての生涯学習施設にまちづくり活動の支援機能をもたせることは賛成です。	②まちづくり・人材
7	賛成します 町作りの為の人材育成に市が取り組むべきだと思います。	②まちづくり・人材
8	賛成します。	①案に賛同
9	賛成です。	①案に賛同
10	賛成します。	①案に賛同
11	賛成です 町作りの為の人材育成を市が取り組むべきと考えます。	②まちづくり・人材
12	住民主体のまちづくり活動を積極的に推進する必要がある、見直しに賛成します。	②まちづくり・人材
13	合併後15年が経過し、位置付けの見直しは必要であると思う。旧清水市の各小学校区での生涯学習施設を利用した活発なコミュニティ活動の歴史を考えれば、地域コミュニティによるまちづくり活動の場としての位置づけは重要である。	②まちづくり・人材
14	賛成です。	①案に賛同
15	市が目指す市民主体のまちづくりに向けて見直しが必要な点は一応理解できます。	②まちづくり・人材
16	憩いの場としての活用 (高齢者、児童、障害者、一同に集える場所、居場所づくりのための拠点)	⑥交流の場・居場所
17	各地区に配置されている意味からすると、地域のまちづくりの拠点として活用することが自然な考えかと思えます。特に今後公務員が減少する中で、地域の力を活用せざるを得ない中で、生涯学習施設、というより、市民自治拠点施設としてより多機能化していくのではないかと感じます。	②まちづくり・人材
18	異論はありません。	①案に賛同
19	市の方針に賛成。まちづくり活動や地域に関わる人材の育成のための施設となるよう見直す必要があると思う。	②まちづくり・人材
20	見直し案に賛成します。	①案に賛同
21	見直し案に賛成します。	①案に賛同
22	賛成	①案に賛同
23	見直し案に賛成します。	①案に賛同
24	旧清水市の考え方やあり方がよいと思うので見直す必要がないと思う。旧清水市の良い制度がなくなっていると感じる。	④旧静岡側に合わせるの反対
25	清水市時代の長い歴史が良きシステムに確立していると考えます。見直す必要がないと思います。	④旧静岡側に合わせるの反対
26	生涯学習推進は市民の交流の拠点として、ますます活動が増加し人とのかかわりを求める活動がより発展していきます。楽しみや学ぶ場が市民の近くに存続しより密なる育成は推進する必要があります。	⑥交流の場・居場所
27	利用しにくい見直しは必要ありません。	③見直し必要ない
28	見直し反対	③見直し必要ない
29	旧静岡市と旧清水市各々のやり方が違うのが問題ならば、旧清水市の方式に統一することを考えてください。	④旧静岡側に合わせるの反対
30	従来通りでよいと思います。見直しは必要ないと思います。	③見直し必要ない
31	見直しに反対します。	③見直し必要ない
32	見直しは必要ないと思います。	③見直し必要ない
33	旧清水市の方式でやってほしい。	④旧静岡側に合わせるの反対
34	見直しに反対です。	③見直し必要ない
35	賛成です。近年、学習活動＝まちづくり活動となることが増えたと思うため、こういった視点を加えて一体的に推進していくべきだと思います。	②まちづくり・人材
36	静清合併から15年が経過し、同じ自治体内の同様の施設の位置づけや運用が異なるのもいかなものかと思えます。合併当初は、それぞれの成り立ちや状況から違いは理解できますが、そろそろ統一してもよいのではないのでしょうか。	①案に賛同
37	しっかりとした位置付けが必要だと思います。	①案に賛同
38	生涯学習だけでは利用する人に限りはありますが、地域のまちづくり活動を支援することが入ると利用できる人も増え、施設のある意義としていいと思います。	②まちづくり・人材
39	生涯学習施設は、地域の総合拠点としても機能していると思います。清水区と葵、駿河では、まちづくり活動の推進方法は異なりますが地域の特長を活かして整備していくのもひとつだと思います。	②まちづくり・人材
40	見直し必要です。ぜひやってください。	①案に賛同
41	気軽に施設利用したいです。	⑥交流の場・居場所
42	地域の方が気軽に利用できるようにして下さい。	⑥交流の場・居場所
43	見直しに賛成	①案に賛同
44	見直しは必要	①案に賛同
45	旧静岡市と清水市の合併から15年も経過しているため、生涯学習施設の位置付けの見直しには賛成である。	①案に賛同
46	学びの場でもあり、コミュニティ場でもあり利用しやすくなると思います。	①案に賛同
47	利用者負担を求める前提として、配置適正化など総経費を整理、圧縮することに賛成です。ただ、将来像を掲げる内容やメリットが、資料では理解できませんでした。	①案に賛同
48	生涯学習施設を市民主体のまちづくりを推進する拠点として、位置付けるのは重要だと思います。	②まちづくり・人材
49	各地区で特長や習慣があり、そこに施設があることが大切であると思います。新たな視点で人材育成がありますが、自治会に未加入者が増えている一つの要因が役員になるわずらわしさがあると考えますので、誰かに負担を強くないような人材育成がされることを期待します。	②まちづくり・人材
50	生涯学習施設としての位置づけをしっかりとすることは、町づくりのためにも重要なことだと思います。	②まちづくり・人材

51	賛成です。	①案に賛同
52	見直したほうがよいと思います。	①案に賛同
53	見直し賛成です。	①案に賛同
54	見直したほうが良いと思います。	①案に賛同
55	地域の課題を解決しまちづくりを行うためには、行政だけではなく、地域の住民も主体となって、まちづくりを行う人を育てる等の取り組みを行うことは必要だと思います。そこで市内にある生涯学習施設を学習活動だけでなく、地域のまちづくり活動に活用する市の考え方に賛同します。	②まちづくり・人材
56	目的が広がることに賛成です	①案に賛同
57	良いと思います	①案に賛同
58	変えていくことはいいことだと思います	①案に賛同
59	賛成です	①案に賛同
60	まちづくり活動を支援することはいいこと	②まちづくり・人材
61	ここ数年の災害を考えた時、人とのつながりが大切だと思います。地域の人が気楽に集まり話し合う事だと思います。場所が必要だと思います。	⑥交流の場・居場所
62	生涯学習施設の位置づけの見直しは、現状でも果たしていることを役割を明文化したものであり、全く問題がなく、また、明文化することにより、市民への周知が図られるためよいと思います。	①案に賛同
63	資料を拝見し、少子高齢化等の時代に即した案だと思いました。	①案に賛同
64	静岡市の考えに賛成します。住民が自分の地域のことは自分たちで考え実行できるように、応援するように交流館を活用してください。	①案に賛同
65	まちづくりには、それに携わる人は必要です。生涯学習施設で人材を育成すればまちづくりにつながるものと思います。市の考えに賛同します。	②まちづくり・人材
66	静岡市の考え方に賛成します。交流館は各地区にある施設なのでそこを拠点としてまちづくり活動が行われることはいいことだと思います。	②まちづくり・人材
67	静岡市の考え方に賛同します。まちの生涯学習交流館を活用してください。	①案に賛同
68	賛成です。	①案に賛同
69	生涯学習センターや交流館は学びの機会を提供してくれる場とされている感があります。これからは、これ等に加えてまちづくり活動の人材育成を支援する場としての広がりを持たせることは良いことであり、賛成します。	②まちづくり・人材
70	賛成いたします。地域住民のまちづくりの拠点として生涯学習施設はなくてはならないものと考えます。	①案に賛同
71	地域の人々が継続的に活動できる、いこいと学びの場であってほしいと思います。	⑥交流の場・居場所
72	位置付けの見直し案に賛成です。	①案に賛同
73	まず、別紙2のアンケート結果にあるように、生涯学習センターを利用しなかったと回答している人が82%もいることから、もっと市民の自主的な生涯学習活動の推進の活動を広めていくべきだと考えました。そのためにも市民の同士が交流できる機会を増やすとともに、その交流を通じて地域のまちづくり活動を支援し、人材の育成にもつなげていくという姿勢はたしかに大切だと感じます。	②まちづくり・人材
74	合併から15年が経過し、静岡市としての一体感も増してきているように感じます。地域の特色はもちろん大切にしていかななくてはなりません。静岡市としての生涯学習の推進ということから1市2制度は好ましいものではありません。長い目で見れば、統一は絶対に必要です。見直し案に賛成です。	①案に賛同
75	生涯学習施設をまちづくり活動の拠点として市民活動を活性化することに意義ありません。そのためには市民が一層利用しやすい制度にすることが必須と考えます。	①案に賛同
76	清水は今まで通りでいいではないでしょうか。何も他の地区と一緒にする必要はないと思います。	③見直し必要ない
77	生涯学習「まちづくり」「人づくり」の発展を重点に置くことは大切です、ますます少子高齢化の社会では必要です。	②まちづくり・人材
78	今まで通りにしてください。	③見直し必要ない
79	一元化ありきで話を進めてませんか	③見直し必要ない
80	高齢になっても学ぶ楽しみ、人と交わる大切さを痛感します。気軽に続けられる生涯学習の場を狭めないでほしいです。外出する楽しみは健康寿命を延ばし税金のむだ(医療費等)を減らせると思います。	⑦見直し困る
81	「まちづくり」と「人づくり」は車の車輪です。「まちづくり」に重点を置くあまり、“自己完結を目指す人”の学習の継続が疎かになる事のないよう！	⑤社会教育・学び
82	見直し案に賛成です。	①案に賛同
83	合併前からの施設の設置目的・活用方法・認知の相違などから、合併後も従前の運用方法をそのままごさってくださって、今回、生涯学習施設の位置づけを見直し、市内全てを統一することには賛成します。統一することで、施設名称も統一されますか？子どもの頃からよく耳にしており地域活動の拠点としてお世話になっていた『公民館』。現在、足を運ぶ機会のない『生涯学習交流館』『生涯学習センター』。名称の違いで利用する目的に違いがあったことを、今回、初めて知りました。市民への理解を広げることは安易ではありませんが、今回の見直しを機会に、本市における生涯学習施設の位置づけが広く周知されることを期待します。	①案に賛同
84	市民ニーズや時代の変化により、柔軟に対応していくことは必要だと思います。	①案に賛同
85	時世に応じて、今後も新たに加えるべき視点があれば、必要に応じて加えていき、市民主体のまちづくりに寄与する施設にしていきたいです。	①案に賛同
86	誰でも気軽に利用できるようなオープンな施設になったらよいと思います。	⑥交流の場・居場所
87	人口減少や超高齢化社会の到来により、市民主体のまちづくりを推進することはやむを得ないが、清水地区の人口・施設数に比べ静岡地区の施設数が少ないため、今まで定期的に活動してきた団体が結果的に施設利用が制限され、活動しづらくなり活動停止になることへの懸念がある。	⑦見直し困る
88	現在は、学びでの世界が広がっています。趣味を超えて生きがいを求めてカルチャースクールをはじめ、講演会、体験会などの催しに積極的に参加している方々が多くなります。そんな中で生涯学習施設は、一番近くで学ぶ意欲をかりたてる場所でもあります。生涯学習とは今のことばで言うなら、どう解釈し、仕事をしているのでしょうか。	⑤社会教育・学び
89	地域のまちづくり活動や人材育成のために公共施設が利用されるのはとても良いことだと思います。	②まちづくり・人材
90	施設の位置付けを見直すことがまちづくり活動の推進につながるようなら積極的にお願いしたいです。	②まちづくり・人材
91	合併当所はそれぞれの運営方法があったでしょう。10年以上たっているので、一元化は必要だと思う。	①案に賛同
92	これからの地域を活性化させるためには若者の力が大事になってくるので、人材育成は急務と感じる。	②まちづくり・人材
93	各施設の多様性を尊重してください。画一化は文化活動になじみません。	③見直し必要ない
94	清水区では大むね生涯学習活動は活発で利用施設についても一部合併時の改悪を除いて問題は少ないと思います。新たな見直しの必要は感じません。	③見直し必要ない
95	賛成。今後、地域には、地域で解決しなければならない課題が増えてくると思います。地域住民がその課題解決のための拠点として位置づける施設は必要であると思います。	①案に賛同
96	老若男女すべての市民にとってまちづくりについて考える場は必要。高校の部活でも清水を元気にする取組をしていた。	②まちづくり・人材
97	人生100年時代といわれるなか、人生を豊かなものにするためには「学び」は大切である。その学びをこれまで以上に地域ぐるみで取り組む必要があると考える。	⑤社会教育・学び

98	現在の生涯学習施設の位置付けについては、一義的には市民個人の人生を豊かにするための学びの場であり、それに付随して地域住民との交流を図る場でもあるといえます。 しかし、今後、地域社会の活性化は、地域課題の多様化・複雑化、市の財政状況を鑑みれば、行政主導によるもののみでは不可能であり、地域住民が自らの地域のビジョンを描き、その実現に向けて自らの責任において自発的に取り組むことが不可欠です。 このような状況から、見直し案にあるように、地域活動の核となる生涯学習施設を「新たに加える視点」に記載された「地域のまちづくり活動を支援するとともに、地域で活躍する人材の育成を図る」場として位置づけることは、本市の今後の地域活性化、あるいはその先の地域経営の実現に向けて非常に重要な意義を持ち、画期的なことであると思います。 是非、今回の見直し案による見直しを実施いただき、各々の市民の豊かな人生と、それを支える地域社会の実現に向け、私たち市民(住民)への御支援をいただけますよう切に願います。	②まちづくり・人材
99	市内には、多くの公共施設があり、それぞれ目的を持っていると思いますが、施設の目的は、時代の移り変わりとともにその目的は当然変わっていくものであると考えます。これから時代は、地域の課題を自分たちで考える人の育成は不可欠であり、そういった役割を生涯学習施設に持たせることは、大変よいことだと思います。	②まちづくり・人材
100	清水の各交流館については、交流館にどう人々の輪からまちづくりの活動に発展していると思っています。	②まちづくり・人材
101	正直、生涯学習センターと生涯学習交流館の性質のちがいがよくわかりません。どんな形であれ、地域の交流の場、学習の場、活動の場など多岐にわたって活用できる施設であってほしいと思います。	⑥交流の場・居場所
102	賛成です。静岡市全体で、地域で活躍できる人材を育てていくべきだと考えます。	②まちづくり・人材
103	各地域に在住する人たちが自分たちの地域に誇りと自信をもってまちづくりをしていこうという気運を高めるとともに、そのような人材づくりは大切だと思います。	②まちづくり・人材
104	静岡市内で統一をしてほしい。	①案に賛同
105	井川小中学校は12月に井川生涯学習施設で行っています。この意図は、学校が人が多くいる場所から少し離れているため、多くの人たち(地域の人)に来てもらいたいという思いです。この学習発表会を通して、地域の人たちとともに井川のこと(まちづくり)について考える場にしたいです。	②まちづくり・人材
106	地域が活発的になるような新しく追加する今回の視点は良い視点だと思います。	①案に賛同
107	今、学校行事で活用させていただいてますが、使用する用途が増えるのは良いと思います。	①案に賛同
108	賛成です。静岡市全体で、地域で活躍できる人材を育てていくべきだと考えます。	②まちづくり・人材
109	生涯学習施設の位置付けを見直すことに賛成です。住民主体のまちづくりを実現するためにまちづくり機能の強化は必要だと考えます。	②まちづくり・人材
110	地域のまちづくり活動を支援し、住民主体のまちづくりを推進するという考え方は賛成です。	②まちづくり・人材
111	具体的な方策を知りたいです。	⑧具体的な取り組みや周知
112	<静岡市生涯学習推進将来像> 高齢者は増える一方。生まれる赤ちゃんは減る一方。こんなアンバランスな時代お互いに助け合わないと生きていけないと思います。地域社会(自治会)の住民主体の町づくりはとても大事な事。行政は理想をのべるだけでなく自治体に向き合っている事、取組んでいる事。発信すべきだと思います。発信なさっているかも知れませんが住民全体に伝わらず情報提供の仕方真剣に考えて下さい。	⑧具体的な取り組みや周知
113	「地域で活躍する人材の育成」というのは、今後ますます重要になる要素だと考えます。生涯学習施設がその役割を担うことに賛成します。	②まちづくり・人材
114	賛成します。	①案に賛同
115	利用者(市民、区民)の活動(今まで、これから)に制限がでるようでは困る。公平性を一番考えて欲しい。	⑦見直し困る
116	今まで活動している団体が取り残される様に感じる。 会によって差が出ないようにしてほしい。	⑦見直し困る
117	今まで活動している団体が取り残される様に感じる。 会によって差が出ないようにしてほしい。	⑦見直し困る
118	まちづくり活動だけ無料で、健康のためのサークルはだめなのでしょうか	⑦見直し困る
119	健康のために体そうをしている私たちはどうしたらいいのでしょうか	⑦見直し困る
120	健康の為にやっている私達の会はどのようにな扱いになるのでしょうか。	⑦見直し困る
121	まちづくり活動を推進しているとしても、公共的団体が先に部屋を借りると生涯学習団体の活動を圧迫すると思います。	⑦見直し困る
122	今迄活動していた私達はどうなるのでしょうか？今迄通りじゃなくなるのですか？	⑦見直し困る
123	親の生きがい作りの場所を取らないで欲しい。	⑦見直し困る
124	まちづくり活動だけでなく、今まで活動していたサークルはすいしんしてもらえないのでしょうか。「まちづくり」のための生涯学習施設になると今まで通り使えなくなるのは困ります。	⑦見直し困る
125	今まで「生きがいづくり」の場として、公民館、生涯学習センターを利用している又は利用をすすめてきたのに、「まちづくり」を中心にしたら、今まで利用されている方はどうなるのか。これまでの方針をかえたら、年寄りが楽しみにしている場所をへらすことになると思う。	⑦見直し困る
126	年齢を重ねていっても学びの場として気軽に友達等と都合を合わせて生涯学習センターにて、つどえるのはとても助かります。	⑥交流の場・居場所
127	・合併後の状態を検証したうえで、必要と判断された内容ですので見直すべきだと考えます。 ・旧静岡にはなかった地域コミュニティの要素が加わり、施設としても利用価値があがると思います。 ・やはり大切なことは統一だと思います。未来を見据えて同じ位置付けにしましょう。	①案に賛同
128	合併後には見直しという調整が必要だと思います。生涯学習と地域のまちづくとの癒合、良いと思います。ぜひ見直しを！！	①案に賛同
129	現在の状況にあわせて見直しすることは大切です。見直してください。	①案に賛同
130	私はこれまで生涯学習施設をほとんど利用したことがありませんが、今回の意見募集によって初めて生涯学習施設の位置付けや現状をすることが出来ました。今回の見直し(案)により、近年の少子高齢化、核家族化等により、地域コミュニティの希薄が社会現象となりつつある中で、生涯学習施設の位置付けに「地域のまちづくり活動を支援するとともに地域で活動する人材育成」を加えたことの意義は大きいと感じました。	②まちづくり・人材
131	見直し案で賛成です。ただし、高齢者だけでなく子供から大人までを対象してほしいです。小学生でも親の同伴があれば利用可能とするとか、小学生だけでも利用可能なエリア策定するとか。	①案に賛同
132	賛成です。地域コミュニティの希薄化が進んでいるといわれている中、地域のまちづくり活動の支援、人材の育成は必要だと思います。	②まちづくり・人材
133	賛成。町内会活動を行っているが、担い手不足を感じる。地域で活躍する人材の育成は重要だと思う。	②まちづくり・人材
134	賛成です。	①案に賛同
135	よいと思います。地域主体のまちづくりは大切です。活動拠点が明確に定義されれば、活動もしやすくなるのでは。	②まちづくり・人材
136	地域のまちづくり活動を支援するとともに活躍する人材の育成というのは良いと思う。	②まちづくり・人材
137	今後、地域課題は地域で解決していくことが重要となるため、賛成です。	②まちづくり・人材
138	まちづくりの活動の場と位置付けることで、地域で活躍する人材の育成にもつながり、よいことだと思います。	②まちづくり・人材
139	賛成します。これからの時代に対応した施設にするためにも、位置付けの見直しは必要なのではないかと思います。	①案に賛同
140	少子高齢化が進むなかで、地域での共助がますます重要となります。地域の拠点として施設が活用されるためにも、位置付けを見直すべきだと思います。	②まちづくり・人材
141	少子高齢化社会における住民主体の新たな町づくり活動を積極的に推進すべきであり、賛成です。	②まちづくり・人材
142	少子高齢化社会における住民主体の新たな町づくり活動を積極的に推進すべきであり、賛成です。	②まちづくり・人材
143	各施設の利用形態は近似しているため見直し案に賛成です。	①案に賛同
144	時代に合わせて生涯学習施設の位置付けを見直しについて、住民にとって有意義な活動の場になるのが良いと思います。	①案に賛同

145	まちづくり活動の中味の説明があいまいだと思います。現在の公共的団体や9条団体の活動を支援することがいろいろな分野で活躍している人たちの活力を高めるのではないのでしょうか。自治会活動はいろいろな分野の活動が深くかかわっているとします。説明ではまちづくりとの結合点が見えません。行政の措置は自殺行為です。	⑦見直し困る
146	現在のままで見直す必要はありません。地域のコミュニティづくり、健康に生活をおくれることに役立つ	③見直し必要ない
147	さみしさを感じているお年寄りも沢山いると思います。老若男女問わず地域の皆様が交流できる場になることを願います。	⑥交流の場・居場所
148	新たに加える視点で地域のまちづくり活動を支援することとあるが、駿河区では自治会館(公民館)がありそこまでの必要性はあまり感じられない。現状の自発的な学習活動を支援も参加する人が全体(市民)のどのくらいいるか疑問	③見直し必要ない
149	現状のままで良い	③見直し必要ない
150	静岡市内一元化	①案に賛同
151	静岡市内一元化	①案に賛同
152	生涯学習センター、生涯学習交流館の利用実態から見てもそれらの位置づけの見直し、利用方法の一元化を早急に進めるべきであると考えます。私は南部生涯学習センターを利用させていただいてますが、施設の老朽化が進み、施設の使い勝手が悪いのが実情です。今回見直しを契機に、古い施設の改修等を早急に実施していただくよう要望します。	①案に賛同
153	「地区のまちづくり活動」の中に自治会活動を含めて支援していただければと思います。	②まちづくり・人材
154	学習施設は地域の文化と人と人の交流ができる唯の施設です。そして高齢化になっても「生きる」学習の場が必要です。今後、施設有効に利用したい。	⑥交流の場・居場所
155	静岡市当局がさも新しい目標として提案した「自発的な学習活動を支援するとともに地域等と交流連携する場の提供+地域のまちづくり活動を支援するとともに地域で活躍する人材の育成⇒目指す姿(生涯学習施設の将来像)」は既に清水区の生涯学習交流館で良い状態で行われており、市当局はその価値を認め、まず賞賛すべきです。今回このような目標を掲げるのは、旧静岡市が時代遅れの認識だったに過ぎないと思います。清水区の交流館の活動を支えているのは9条認定団体と公共的団体の利用料無料化と会場の運営形態です。利用料を有料化をすると交流館の活動は衰退します。市当局が本気で見直し案の目標を達成する気があるのなら、清水区の交流館と地域住民が良好な関係にあるのを壊す利用料の有料化という愚かなことはするべきでありません。市当局は目標を充実させ確実にものにしていくために清水区の交流館利用者の制度を現状のまま維持して、旧静岡市の利用の仕方を清水区に合わせるべきです。	⑦見直し困る
156	現状のままで良い	③見直し必要ない
157	基本的に賛成	①案に賛同
158	総論として異議なし	①案に賛同
159	・総論については異議はない。生涯学習センター、生涯学習交流館利用者が対等に納得できる具体案が提示されることが望ましい。	①案に賛同
160	・提示された内容では、交流館利用者への配慮がなされているようで、生涯学習センター利用者の活動の場が奪われはしないか心配がある。	⑦見直し困る
161	合併15年にもなるんですね。市の施設の統合は良いと思います。	①案に賛同
162	生涯学習団体が部屋を取りづらくなるなど、今と同じように利用はできなくなるよう配慮してほしい。	⑦見直し困る
163	統合に賛成。異論なし	①案に賛同
164	学習施設が地域の拠点となれば、町内会の活動がこれまで以上に活発となり、地域がもっと良くなるとします。	②まちづくり・人材
165	現状のままで良い	③見直し必要ない
166	まちづくりは行政のみが行うものではなく、私たち市民が主体的に取り組むものです。生涯学習施設はその拠点となりますが、拠点機能のみならず、活動支援や人材育成などの視点が盛り込まれることほうれしく思います。	②まちづくり・人材
167	案で挙げられているような取組が全ての生涯学習施設で行われればそれが理想だと思う。こういった取組みを実際どのように行っていくのが課題。	⑧具体的な取組や周知
168	まちづくりと人づくりは人間の体に例えると自治会・町内会など公益活動団体が、市の施策を進める太い骨で、公共的団体の活動は、潤滑油であり、血管ではないかと思えます。市や公益活動団体では、目も手も届きにくい住民生活の細やかなところに日々息づいているのが、自発的、意欲的な市民活動だと思います。まず市民が元気でなければまちづくり、人づくりは実現不可能だと思います。旧静岡市の中心には、市民が利用できる公共施設が多く、清水・由比・蒲原などの地域との格差は歴然としています。かといって旧静岡市の住民が他地域に比べ、地域交流、連携が進んでいるとも見えません。旧静岡市にも、特定の人しか通えない大きな施設ではなく、各地域住民が元気になる生涯学習施設が欲しいと思います。生涯学習施設の利用者が少ないということは、多くする対策が必要ではないのでしょうか。私は今義母の介護等で、利用していませんが不公平感はありません。利用していない人の中にも子供や高齢者の健康や学び、楽しみでお世話になっている家族もあることでしょう。まちづくり活動をアンケートの数字だけでみて推進すると、一人一人の市民の知恵、力を活かせず、災害等いざというときに市民の交流・連携力を期待できず再生能力ももろいものになるでしょう。地域等の課題解決は市政の仕事では？生涯学習施設をそのような市の職員代行養成の目的のような視点でとらえるのは納税者として反対です。現状の位置づけ(自発的な学習活動を支援するとともに地域等と交流・連携する場を提供します)に市民への深い尊敬の思いと市政を執行する方々の誇りを持った姿勢を感じる事が出来ます。変えないでください。	③見直し必要ない
169	静岡市内一元化	①案に賛同
170	2 利用方法の見直しについて生涯学習センターと生涯学習交流館は設置目的が異なっていたため、統一化を図るのはとても難しいことだと思う。自治会等のまちづくりを活性化させることが必要なのは理解できるが、生涯学習施設であるからには多様な学習ができるような施設づくりを目指すことも大切なのではないのでしょうか。	③見直し必要ない
171	賛成です。同じ市で二つの制度があるのはおかしい。統一すべきだ。	①案に賛同
172	市民が主体的にまちづくりに関わるための活動の場、拠点とすることが、今後の静岡市の発展に望ましいと思います。	①案に賛同
173	学習活動に限定せず、「地域のまちづくり活動」の支援及び「地域で活躍する人材」の育成について明文化した案について賛成です。	②まちづくり・人材
174	賛成します。各施設が地域の拠点として、学習活動に加え、地域コミュニティの活動の場所となることは、これからの小規模多機能自治などを見据え必要だと思います。	①案に賛同
175	地域ごとの特色が薄れてきている現代なので、生涯学習施設を軸に人材の育成も含めたまちづくりを推進してほしいと思います。	①案に賛同
176	「生涯学習」という言葉の意味合いが時代のニーズに合わせて変わってきたことを考えると今回の見直しは必然的なものと考えます。	①案に賛同
177	近くで学びの場があり利用していましたが、自治会、地域が優先になってきたら今でも抽選で落選する事もあるのでもっと教室を利用できなくなるのではないかと心配しています。	⑦見直し困る
178	現在楽しく利用しているのに、見直す必要はないと思います。住民が主役です。	③見直し必要ない
179	一般市民の文化交流活動は、余暇有効活用の立場からこれからますます盛んにする必要があると思います。一律20%削減に反対します。ますます流出人口が増えてしまう。	③見直し必要ない
180	見直し案でいいと思う。	①案に賛同

181	<p>1)経緯について 「静清合併から15年が経過し、生涯学習センターにおいても、自治会等のまちづくりにつながる利用がみられ、各施設の利用形態が近似してきました。」とありますが、今回の「利用方法一元化」の検討の過程でも見られたように、市長をはじめ局長など市の幹部は、清水の交流館の歴史と成果を表面的にしか理解していません。とても「利用形態が近似してきた」とは思えません。</p> <p>まず、清水の生涯学習活動の成果について ①、●●の地区連合自治会長は、「生涯学習課活動は、自治会活動を支える裾野だ。裾野が崩れれば自治会活動も崩れてしまう。」と発言されたそうです。だからと言って、清水の生涯学習活動が、自治会活動を直接的に支えるために行われている訳ではありません。地域の人が交流館を中心に活発に活動している。自然に顔を合わせ会話し、互いに相談したりされたりする。そうした中で、生涯学習活動と自治会活動を相互に理解し協力が生まれる。生涯学習センターのシチズンカレッジももちろん大切ですが、異議だけを強調・教育しても有機的には結び付きません。</p> <p>②、生涯学習交流館利用者の話し合いの中で、30代と思われる女性の方から「旧静岡に比べ、旧清水の街の方がいいなと思ってきたが、その理由が分かった。」と発言されました。生涯学習活動が活発な街には潤いがあることを、若い人も感じ取っています。この潤いは、一朝一夕にできたものではありません。清水市の時代から、お金と時間をかけて築いてきたものです。こうした成果をきちんと理解した上で「利用形態が近似してきた」と結論付けているのでしょうか。合併から15年、行政の中で、旧両市の制度の内容を理解し合う努力がほとんどされないまま放置され、ただ並立で運営されてきただけだと思います。この見直し案は前提が不十分で、見直しに反対します。</p>	④旧静岡側に合わせるの反対
182	<p>(3)静岡市生涯学習推進大綱における将来像について 静岡市第2次生涯学習推進大綱理念では、「いつでも、どこでも学び、豊かな人生を送る」ことを一義的に掲げています。そして、第2に「学んだ成果を活かし、ともにまちを作っていく」ことを掲げています。その実現のための行政の役割は、学習機会を提供する、人材を育成する、啓発事業を行なう、情報を提供するとしています。</p> <p>今回の案は、「いつでも、どこでも学び、豊かな人生を送る」という第一の理念を軽視し、「学んだ成果を活かし、ともにまちを作っていく」という第2の理念だけを取り上げ、大綱の意図を捻じ曲げています。</p> <p>推進大綱の理念の第一は、あくまでも「いつでも、どこでも学び、豊かな人生を送る」です。</p> <p>この案の位置づけの見直しには、市にとって便利な活動を市民にさせて行こうという下心が透けて見えます。第2次大綱を決めた時には、「学ぶとまちが活性化する。活性化したまちでは学が広がる。ひとづくりとまちづくりが繰り返され、発展して、豊かな生涯学習社会が実現される。」と豊かな生涯学習社会の実現をもっと純粋に目指しています。その結果から市民と行政の協力が生まれ育ち、住みやすい静岡市になっていくと受け止めています。第2次生涯学習推進大綱の理念を都合よく悪用しないでください。</p> <p>この見直し案には反対です。</p>	③見直し必要ない
183	<p>(4)生涯学習施設の位置付けの見直しについて 新憲法の下での社会教育法では、「社会教育は本来国民の自己教育であり、国家(公)の任務は国民の自由な社会教育活動に対する側面からの援助であり、奨励であり、且奉仕であるべき」とされてきました。</p> <p>何故そのようになったのか。それは、国民が「社会の構成している一員として、社会の協働生活を立派にいとむために必要な知識や技能や性格を身につけていないと、良識ある公民としての役割」を果たせないからです。その社会教育は、国民自身が行うものであり、行政は、「側面からの援助」が役割になるのです。</p> <p>その点から見ると、今回の見直しは、明らかに、市の要求を生生涯学習活動に押し付けるものであり、社会教育の精神を逸脱します。</p> <p>「市民主体のまちづくり」という形をとりながら、実は、行政の手足にしようという狙いが伺い知れます。</p> <p>こうした変更には反対です。</p>	⑤社会教育・学び
184	<p>まちづくりや地域の活性化を促すための人材育成に取り組むことはよいことだと考えます。生涯学習施設は「学び」と「交流」の拠点として機能させる力があると思われま。しかし、「まちづくり」に活用できる人材の育成に重きを置いてしまうと、「生涯学習」「社会教育」としての側面がなおざりになる可能性もあるため、調和がとれた運用を望みます。</p> <p>生涯学習施設を活用した、「市民主体のまちづくりの推進」はよい考えだと思います。しかし、「まちづくり」という考えに主観を置きすぎ各学習団体の活動を制限、圧迫してしまう可能性があります。学習を支える拠点として意味合いを維持しつつ、活動に説教的な人材を育成できればよいと考えます。また、「まちづくり」について地域の活性化を促せる人材の育成に力を入れることはよいのですが、自治会などの活動がしやすいように環境を整えるだけでは局所的な地域活動にとどまってしまう、意図している活動につながるかは未知数であると感じます。市民が主体となれるまちづくりのために、活動の場を整えることも重要ですが、自治会などの公共活動以外の面において、生涯学習施設を利用し、学習による生きがいの創出も重要な要素であると留意していただくと幸いです。</p>	①案に賛同